



『まるごと』(初級 1A2) <りかい> 教え方のポイント

1. 授業の構成の目安 (120-180 分)

●トピックの扉ページ／勉強する前に (5 分程度)
<ul style="list-style-type: none"> トピック扉の写真や、「勉強する前に」の質問(母語や媒介語)を通して、学習者の経験や 既存知識を活性化させ、これからこの課で学習する内容につなげる。
●文字とことば (30 分程度)
<ul style="list-style-type: none"> 課によっては、活動編の同じ課で導入した語彙に新たなものが加わっている場合もある。 練習方法は、イラストを見て文字を選ぶタイプ、対やグループになるものを整理するタイプ、 コロケーション(いっしょに使われることが多い語の組み合わせ)、文脈による適語選択など がある。 書きとり(単語レベル、特殊拍のものなど)は3～4問。書き取り用のマス目で、細長いも のは拗音を書くためのもの。漢字は基本的に語を単位として導入する。導入後、「会話と文法」 でも漢字表記とするが、品詞の活用を伴う練習問題のキューは、かな書き。
●会話と文法②、③、④ (50～80 分程度)
<ul style="list-style-type: none"> モデル会話(導入会話)で場面と文脈を理解した上で、コミュニケーションのために使われてい る言語構造の学習へと誘導する。 手順 <ol style="list-style-type: none"> イラストを利用して場面を説明し、会話を見ながら音声を聞いて意味・機能・形を理解する。 言語構造や活用を確認する。 活動編より活用例としてあげる語の数が多いが、これ以上増やす必要はない。 確認した言語構造の意味や文法規則を使って、練習する。 意味理解の練習問題、形の練習問題、談話構造の練習問題がある。 ペアで会話を見ながら言う練習。学習者が身近な情報にことばを入れ替えてもよい。 目的は学習した言語構造が場面と文脈の中で使われていることを再確認することなので、 授業全体から見れば、あまり力点を置かずともよい。 留意点 <ul style="list-style-type: none"> ※理解編は日本語の言語構造をより広い視点で学習するなどの目的から、活動編と文型の示し方 が若干異なる課がある。活動編と理解編を同時並行的に使って学習する場合は、教師が学習項 目を確認しておくことが必要。 ※縮約形(「V てます」など)は文字テキストには使用していない。(録音音声では使用。) ※音声アイコンには、「音声」と「聞いてチェックしましょう」がある。音声を使った活動は 以下の3種類。 <ol style="list-style-type: none"> ①「音声」(聴解練習) : 会話を聞き、意味を理解して答える。(p1 009-012 など) ②「聞いてチェックしましょう」(文法・文型練習) : 練習問題の答えを記入後、音声を聞いて、答えを確認する。(p24 005 など)



③「音声」→「聞いてチェックしましょう」

- ：言語構造が使われている会話を聞いて、問題に答える（聴解）。(p33 023-026 など)
 →上の会話をもとに文を再構成する練習問題をし、その答えのチェックに音声聞く。
 (p33 027 など)

●ことばと文化（5～10分程度）

- ・トピックに関連して文化的な背景を持つことば・表現をとりあげる。
- ・ある場面において、どんな表現を適切と考え、実際に使っているかを考える。自分たちの文化との比較や自分のコミュニケーションスタイルに対する気づきを促すのが目的なので、正答はない。
- ・日本語で意見交換をするのはまだ難しいと思われるが、あまり媒介語を使用しないでできる範囲でとどめる。

●どっかい／さくぶん（25～50分程度）

- ・「どっかい」と「さくぶん」は、会話場面を通して学んだ言語構造を、別の技能（読解、作文）を使って、定着させるのが目的である。

「どっかい」

- ・トピックに関係がある内容のテキストを読む。
- ・現実の場面に近いタスクのほかにクイズやゲーム的な要素を取り入れたタスクがある。
- ・「どっかい」の音声は、以下のような使い方ができる。
 - ①漢字の読み方を確認する
 - ②学習者の読むスピードが遅い場合に、音声聞きながら目で文字を追わせることで、はやく読めるようにする
 - ③授業時間が足りない場合に、一斉に聞きながら読んで時間を調節する

「さくぶん」

- ・重要表現や言語構造はなぞりがきにした。下線部は、学習者が自分のことを書く。
- ・書くことによる理解・定着を促進するために、独力で全文を書くことも数回は行う。
 (p167 ワークシート使用)
- ・学習者が書いた作文は、中間と期末の「ふりかえり」の時に使う。また、ポートフォリオに入れる。書かせっぱなし、教師だけが読み、修正するということがないように注意すること。
- ・偶数課のさくぶんはサイトからダウンロードできる。
- ・授業で時間がとれない場合は宿題にする。

●にほんごチェック（5分程度）

- ・巻末のチェックリストを使う。「日本語で言いましょう」の質問（「勉強する前に」と同じ）を読んで、学習項目になっていた言語構造を思い出し、学習の成果を3段階で自己評価する。コメント（感想）も母語で記入する。



●各課のポイント

トピック 1 私とかぞく**第1課 東京にすんでいます****②かいわとぶんぼう**

トピック 1 は自己紹介場面での会話。ここでは、住む、働く、勉強する、などのトピックにした動詞を「V-ています」（習慣・結果の継続あるいは状態）で表現する。話し言葉には縮約形「V-てます」が使われることが多いので注意。「V-ています」は第4課でも学習する。②-②/③は、どちらジョイさんの家族についてだが、②はモノログ、③はダイアログになっている。夫・ご主人、むすめ・むすめさんなど、家族の言い方に注意。

④どっかい

ジョイさんの孫はりょうくんという日本名を持つ。②かいわとぶんぼうの内容からもわかるように、ジョイさんの娘は日本人と国際結婚しているという設定である。

<ことばと文化>

初対面の人に聞いてもいい質問とそうでない質問がある。本人から言うまで家族も話題にしないという場合もあるし、年齢や既婚かを聞かないと呼びかけに困る言語もある。この質問を通して、自分が何気なくしている質問が相手にどのように受け止められるか、またなぜ自分（たち）はその質問をよくするのかにも注意を向ける。

第2課 しゅみはクラシックを聞くことです**②かいわとぶんぼう**

趣味は一つとは限らない。ここでは複数の趣味がある人を登場人物とし、それを反映した聞き取りと、発話練習としてある。趣味の名前だけでなく、簡単にもう一言加えられるとよい。②では動詞の名詞化「V-ること」をとりあげる。目的語も加えて、趣味の内容を少し詳しく言えるようにする。

③かいわとぶんぼう

休日や暇な時の過ごし方について話す交流場面。文型は「～とき」。ただし、ここでは時制に関係なく接続が単純な名詞と形容詞に限る。

②-④は「～とき」を使って自分のことを話す活動。ペアでの会話練習では学習者の話がはずんで日本語の正確に言えないことがあってもよい。この活動はお互いのことを知るうえで役立つので人間関係構築につながるし、それがこのトピックの目指すところでもある。

④どっかい



この課は、声と写真の人物の性別が必ずしも一致していないので、音声を聞く場合は、読んで答えを書いたあとのほうがよい。

トピック 2 きせつと天気

第3課 日本は今、春です

①もじとことば

このトピック全体を通して日本語と同時に、日本の季節や日本人の季節感についても学んでほしい。①は難しいかもしれないが、写真など（活動編にもある）を使って、楽しく行いたい。授業外での日本文化体験活動として、季節の言葉を使って作る俳句を紹介してもいいだろう。

②かいわとぶんぼう

①モデル会話の登場人物（やまだとタン）は今、日本以外の場所にいる。ちなみにタンはシンガポール人。会話をしている時期は、日本の冬にあたる時期で、12～2月ごろ。自分の国に滞在している日本人と季節の話などしながら交流を深める場面である。②では「～なります」を使って季節の変化を表す練習をする。②-②はイラストをよく見て考えること。②-③では、学習者の国や地域に季節の変化があれば、②のように言うしてみる。

③かいわとぶんぼう

好きな季節とその理由を話している交流場面。「Nが好きです」は入門A1で既習。②の形容詞を「の」で名詞化させて使う「イA-いのが／ナA-なのが好きです」は新出。否定形は「は」を使い、「～は好きじゃないです」。一方、「にがてです」は意味的に否定だが形式上肯定形なので「～が にがてです」とした。実際には「～は にがてです」も使われる。③では理由の「から」を練習する。学習者自身も好きな季節とその理由を言って、互いのことを知りあうきっかけにしてほしい。

④どっかい

北半球（日本）と南半球（オーストラリア）は季節が反対であることが、2つのメールの前提になっている。

⑤さくぶん

必要に応じて学習者の国の季節を表すことばを教える（「雨季」、「乾季」など）。

第4課 いい天気ですね

①もじとことば



日本の地方都市の天気を選ぶ。地名を覚える必要はない。

②かいわとぶんぼう

日本語では、天気についての話は、あいさつ代り。どんな人とでもことばを交わすことができる。②の学習項目は丁寧形の非過去形と過去形。否定形は「～ないです」を使っている点に注意。否定形には「～ないです」「～ありません」と2つの形があるが、本書では「～ないです」で練習する。（「～ありません」は巻末「ぶんぼうのまとめ」に記載。）

③かいわとぶんぼう

電話での会話のはじめの部分のみモデル会話としている。会話はこれで終わりではなく、実際にはこの後本題にうつることを確認する。②で学習する「Vています」は、第1課でも「習慣的動作」として、とりあげた。ここでは進行中の動作と動作の結果の状態の両方を提示している。そこで、「Vています」は、「今、眼前に見えていることを表すために使われる」とまずシンプルに説明する。こその上で、時にそれが進行中の動作であり（動いている、動画的）、時に結果の状態（動いていない、静止画的）であったりすることを、例文を見ながら補足する。ポイントは、難しく見せないこと。②-②の田中とエステーの会話では、話し言葉の「そっち／こっち」が使われている。書き言葉の「そちら／こちら」は、余裕があれば作文用に紹介してもよい。②-③「あなたの国ではどうですか。」という質問は、遠くにいる人と電話で話すとき、自分がいる場所の天気や周囲の様子のことを話すかどうかということ。

<ことばと文化>

道でたまたま知り合いに会ったとき、何と言って挨拶をするか。日本人は「いい天気ですね」や「おでかけですか」という反応が多いかもしれない。選択肢にはないが、親しい相手なら「あ、それ新しい服ですね」のように相手の変化に気づいて話しかけることもあるだろう。考えてほしいことは、どの表現を選ぶにしてもなぜその表現なのかということである。学習者自身の文化との比較も交えて、考えてみてほしい。

トピック 3 私の町

第5課 このこうえんは広くて、きれいです

①もじとことば

①-②は、4つの場所のイラストから連想しにくいことばを選ぶ。

②かいわとぶんぼう 第5課は東京案内の内容になっており、ここでは上野界隈が話題になる。あべは東京のことをよく知っている地元の人。仕事で東京に短期滞在中のワンに、見どころを紹介しているところ。町や場所がどんなところか説明するために、文型「イ A-く



て／ナ A-で／Nで、イ A／ナ A／…」を使う。2つの形容詞／語の組み合わせは「安い＋便利（安くて便利）」「暗い＋あぶない（暗くてあぶない）」のように肯定的なイメージまたは否定的なイメージの語でまとまる。

③かいわとぶんぼう

今度はワンのほうが、自分のもっている情報をもとに地元（東京）の人（たなか）にたずねる。[2]では、意味の対立する2つの語（形容詞、名詞）を文型「～けど、～」にあてはめて、町や場所の説明をする。2つの語のうち、後のほうに話者の態度が表される。[2]・①は話者の態度（何を言いたいか）をよく考えること。[2]・②は東京の名所。地名は文字で示してはいないが音声では出てくる。[3]の「あなたの町はどんな町ですか」という問いに対しては、「～けど～」を使って言えるところがあるかどうか考える。

④どっかい

ここでは特に、東京に滞在中の人が週末などに散策できる町として吉祥寺を紹介した。

第6課 まっすぐ行ってください

①もじとことば

[5]では数字の書き方をメモの中に示した。横書きの場合、漢数字よりも算用数字が好まれる。漢字の読み方の導入のために「一つ、二つ」を示したが、本編では算用数字を使っている。

②かいわとぶんぼう

町の通りでの道聞き場面。パウロは旅行者で、女の人は通りすがりの地元の人。

[2]の文型「V-てください」はだれかに指示を出す時の丁寧な言い方。学習者にとっては、教室で教師が言うのをよく聞いている文型であろう。知っている文の構造をここであらためて学ぶことになる。[2]・②は、ペアかグループで、①の文をだれかが言い、ほかの人は地図上でその通りに動く。[2]・③は「V1-て、V2」動詞テ形で、交通案内。「あるいていきます」のみ入門 A1 で定型表現として示した。

③かいわとぶんぼう

道聞きするとき、目印になる建物を描写するために、色と形を中心とした形容詞を2つ以上使って名詞を修飾する（～イ A-くて／ナ A-で、～い／な N）。[3] 1番 a のイラストは正確には「黒っぽいビル」と言った方がよさそうだが、特徴を強調して言うためにあえて「黒いビル」とした。



トピック 4 出かける

第7課 10時でもいいですか

①もじとことば

②の4つ場所は日本の都市部でよく待ち合わせに利用される場所である。

②かいわとぶんぼう

外出することになっている2人が、当日の待ち合わせ時間や場所、服装など具体的なことを事前に相談する場面。②でとりあげる文型は「Nでもいいですか」。自分にとって都合の良い条件を示しつつ、話し合う。②・③の質問は服装について。宗教的な場所や、高級なレストラン、劇場などでは、服装のルールに注意した方がよい場合がある。文化の学習としてもおもしろい。

③かいわとぶんぼう

モデル会話は携帯電話で待ち合わせに遅れることを伝える場面。②では理由を表す「Nで/V-て」を学習する。③の会話練習では、談話を確認する。自分がよく遅れる理由を考えて、同じ談話構造で会話を作ってもよい。

「すみません。15分ぐらいおくれます。ちょっと道にまよって...」

→まず謝る、理由の文の後半は省略することが多い。倒置と考えてもよい。

このようなときにまず謝るのは日本人のコミュニケーションの方法であり、学習者の国の文化とは必ずしも同じではないだろう。この点については<ことばと文化>で考える。

④どっかい

YさんとSさんの事実確認の○×問題の後、双方にとっての事実と気持ちがどうすれ違ったのか話してみる。ブログ(日記)なので、「よかった!」「Sさんはいつもはやいなあ」「おそい!」「どうして?」など、自分の気持ちを率直に表している部分にも注目。

⑤さくぶん

携帯電話のメールのような場合、自分や相手の名前を書かないことも多い。またモデル会話では「15分ぐらいおくれます。ちょっと道に迷って...」と文が倒置しているが、このさくぶんの方は書き言葉的なメールの文であり、それがない。

<ことばと文化>

友だちとの待ち合わせに20分ぐらい遅れて、電話連絡を入れるとき、はじめに何と言うか。

「まず謝る」「理由/状況を説明する」「もう少し待って」のような依頼をするなど、いろいろな発話が考えられる。その背景には「遅れる」ことへの考え方や、待っている人への配慮など、いろいろあるだろう。文化差や個人差に話が広がるとおもしろい。



第8課 もうやけいを見に行きましたか

①もじとことば

③は「～～を見に行きます」に必要な概念項目（場所とそこにあるもの）を照合する。写真bは復元された竪穴式住居。

②かいわとぶんぼう

出張者のような、一時的に自分の町に滞在している人（キム、ホセ）に対して、地元の人を案内しようという善意のある人（かわいい）が話しかける場面。自分の町のいいところを知ってもらい、客に楽しんでもらいたいという気持ちを行動にする会話である。

②の文型「もう V-ましたか」（行動の完了）に対する否定の回答は、この段階では「いいえ、まだです」とした。③は3つの場所に行ったかという質問に対してA、B、Cの3人が次々に答えるのでよく注意して聞くこと。④の「あなたの町には新しくておもしろい場所がありますか」という質問は、話題になっている新しい場所があれば、学習者同士でも「〇〇、もう行きましたか」「はい、行きました」「いいえ、まだです」というやりとりができるだろう。

③かいわとぶんぼう

②と同じ場面。③-①「N/Vに行きます/来ます」のNは目的地ではなく、「Nをする」と言い換えられる動作性のある名詞。人を町にさそう場面では、「食事/買いもの/さんぽ/カラオケ」などが使える。「Vにいきます」「Vませんか」「Vましょう」入門A1第12課で既出。③-②の会話もまたこの課の場面を再現するもの。

トピック5 外国語と外国文化

第9課 日本語ははつおんがかんたんです

①もじとことば

③日本の教育制度を簡単な図に表した。学習者の国と比較してみるとよい。

②かいわとぶんぼう

外国語学習と外国語について話している交流場面。日本語学習中の学習者にとって、このトピックは身近な話題であろう。文型は「～は～が～です」構文を使って、外国語について自分の経験や考えを話す。②で行う活動（今までに学習した外国語について話す）は、個人の感想や印象なので、正解はない。ユニークな意見が出た場合は、母語や媒介語で「どんな点が？」などとやりとりしてもよい。③では動詞を名詞化（V-るの）して、構文にあてはめる。ここでは、「おもしろい、むずかしい」などの形容詞で、学習経験のある外国語



について感想や印象を言ったり、「好き、得意、苦手」などで自分の外国語学習の傾向について話したりする。④では、日本語や他の外国語学習についても学習者同士でやりとりができるとうい。

③かいわとぶんぼう

外国語や外国語学習中の問題点を解決するために、だれかに助けを求めるといふ場面。文型「V-てくださいませんか」は人に何かを頼むときの、とても丁寧な言い方。④は音声を聞く前に、イラストをよく見て何をしているか確認しておく。

第10課 いつか日本に行きたいです

②かいわとぶんぼう

②と③のモデル会話は、外国の文化や外国語の学習が、自分の生活や人生にどんなふうに関わっているかという内容になっている。②-②「ジャパン・エキスポ」はフランスで行われているイベント。日本文化イベントはほかの国でも行われている。「行きたいか、行きたくないか」「したいか、したくないか」自分の答えを言ってもよい。③では「あなたはどですか」と問いかけているが、学習者全員が今の日本語学習や外国語学習が将来の職業と直結しているとは限らない。いろいろな学習者がいるので、無理に自分のことを言う必要はなく、モデル会話を見ながら言う練習にとどめてもよい。

③かいわとぶんぼう

習慣的な行動は「Vます」や「Vています」を使って言うことができる。本書では、外国語学習や生け花のような学校やコースに行くものは「Vています」、その他は「Vます」を使っている。どちらも頻度の表現「週に1回」「毎週」などといっしょに使える。③の文型「V-てみます」は、外国文化との接触という話題に沿って動詞を選択している。④の「あなたはどですか」に対する答えは、教科書の会話のパターンどおりでなくてもよい。例えば「どんな国に興味がありますか」「〇〇です。〇〇に行ってみたくたいです。〇〇で××を見たくたいです」などのやりとりができるとうい。

④かいわとぶんぼう

第9課で取り上げた「V-てくださいませんか」はだれかに助けをもとめる表現であるのに対して、「V-ましょうか」は困っている人に対して助けを申し出る場面で使われる。他者への配慮を表す表現と言えよう。

トピック6 そとで食べる

第11課 何を持っていますか



①もじとことば

③丁寧さを表す接頭辞「お」をメモの中に記した。おべんとう、おすし、おさけ、おはし、おさら、のほか②にもおちゃ、おかしがある。これらのことば（お～）は性別年代にあまり関係なく使われている。「おにぎり」は「にぎり」にすると意味が違うので注意。「にぎり」は江戸前のすしのこと。

②かいわとぶんぼう

ピクニックの相談場面。②-①では「V-ていきます」「V-てきました」の両方を扱うが、前者はピクニックの相談場面、後者はピクニックの当日場面と分けて、両者の違いを出した。文型の見出しは「V-ていきます／きます」と非過去形になっているので注意。

③かいわとぶんぼう

ピクニックに持っていくものを決めるためにほかの人の意見を聞く場面。②の文型で使われている、許容を表す「Nでも」は第7課でも取り上げている（「Nでもいいですか」）。

③は比較の表現「N1 と N2（と）どちらがいいですか」「N1 がいいです」。③-①は音声を聞く前に手順を確認し、曜日と場所を聞く。4人の都合や意見を聞いて、最終的にどうするか、決めること。

第12課 おいしそうですね

①もじとことば

①キムチは韓国の食べ物だが、日本でもよく食べられている。

②かいわとぶんぼう

ピクニックの日、持ってきた食べ物や飲み物をテーブルにひろげて会話をする場面。いろいろなものを見て、簡単にコメントするために、文型「～そう」を使う。②-①②は p115 のピクニック場面のイラストを見ながら行う。目で見て（感じて）発話する文であることを確認する。

③かいわとぶんぼう

ピクニックのために持ってきた食べ物や飲み物についてコメントする場面。②では「おいしい」だけでなく、どうおいしいのか一言つけ加えるために、形容詞のて形「イ A くて／イ A なくて」「ナ A くて／ナ A じゃなくて」を使った文型を取り上げる。否定形を扱っているので注意。形容詞は、社会的な慣用表現や、個人の主観の違いも大きいので十分に意味を理解しているか注意を払う。たとえば、辛いものが好まれるタイで「からくなくておいしい」と言うか、ビールは常温で飲む地域で「冷たくておいしい」と言うか、甘いものが好まれる中東などで「甘いものが苦手」は理解されるか、など。表現の背景にはその人



の文化がある。

<ことばと文化>

嫌いな食べ物をすすめられて断るとき、a はっきり嫌いだと言う（〇〇はきらいです）、b 婉曲表現を使う（〇〇はちょっとにがてで...）、c 内容を変えて言う（もうおなががいっぱいで...）などの表現が考えられる。言われた人がどう感じるか想像してみるとよい。質問を通して、学習者の気づく力を高め、異なる価値観に注意深くなるようにする。

トピック 7 出張

第 13 課 たなかさんに会ったことがあります

①もじとことば

①⑥⑧は空港の案内板。定刻、起点／行先／経由地、便名などの漢字を読む必要はないが、気になるようならまず学習者にそれらの漢字が何を意味しているか類推させてみるとよい。到着時間か出発時間かの区別は、⑦⑨のイラストをよく見て考える。外国人ビジネスマン（茶色いスーツ）が日本人ビジネスマン（めがね）を迎えに来ているなら到着時間、見送っているなら出発時間である。

②かいわとぶんぼう

仕事をめぐる海外経験について話す場面。②では経験を表現する「V-たことがあります」を学習する。③でたなかは外国語が苦手な外国にも不慣れだということがわかるが、それが次のモデル会話の内容につながっていく。選択肢 d には「外国人」ではなく「外国の人」と表現している。「外国人」と言うのにくらべて、「外国の人」は丁寧でやさしい印象になる。もっと丁寧な言い方は「外国のかた」。

③かいわとぶんぼう

英語が苦手なうえ、出張ではじめて東京からイギリスに来たたなか。イギリス支社のスタッフのタイラーはそんな田中に対して、親切心からホテルの部屋をチェックしているが、これは日本人の出張者に対する一般的なビジネスマナーというわけではない。学習者に考えてほしいことは、習慣やことばに慣れていなくて不安な気持ちでいる人に対して、どんなことができるかということである。

④どっかい ⑤さくぶん

どっかいとさくぶんのメール 2 つは、出張者を迎える人と出張する人のやりとりになっている。



第14課 これ、使ってもいいですか

①もじとことば

- ① イラスト6番は、コンピューター、パソコンのほかに、コンピュータ、PCとも言う。
 ② は主語と「つける・けす」か「あける・しめる」を照合する問題。動詞はすべて他動詞。
 ここで自動詞を補足説明する必要はない。

②かいわとぶんぼう

タイラーが出張者（たなか）にオフィスのスタッフを紹介している場面。日本人をだれかに紹介するような仲介者としての役割は、海外の学習者にとって経験する可能性が高いものと思われる。②で扱う文型「V-て～年になります」は、スタッフとのおしゃべりで使える便利な表現として提示した。③では4番のナターリヤは日本語がたどたどしい。このレベルの学習者はそれを自分自身と比較したり、重ね合わせたりするかもしれないが、大切なことは、会話は相手があるのでゆっくり話しても正確さが少々欠けていても、なんとかなるものだという事。④の活動は、日本人（日本人スタッフ、その家族、知り合い、旅行者など）に頼んで来てもらうとよい。そのときはいい機会なので、仕事の話に限らずいろいろな話題で話すとよい。

③かいわとぶんぼう

出張者（たなか）が、出張先のオフィスで仕事をするために、ものを借りようとして頼んでいる場面。③は音声を聞く前にイラストの内容を確認すること。
 文型「V-てもいいですか」の「てもいいですか」（許容）は、L7「10時でもいいですか」で名詞を使った場合を取り上げている。

<ことばと文化>

ほめられたときにどう対応するかは文化差や個人差があるし、ひとりの人の中でも状況によって異なる。ステレオタイプの通説は「日本人は謙遜する傾向がある」（a そんなことはありません。／d いいえ、まだまだです。）だろうが、ひじょうに努力をした場合などは素直に「b ありがとう」ということもある。学習者も母語での行動規範と異なり、日本語の場合は「いいえ、まだまだです」と言ってみたいという気持ちもあるかもしれない。この質問を通して、ほめることへの反応について気づきを高められるとよい。また、ほめることは相手に対する好感の表現であることも確認したい。

トピック8 けんこう

第15課 たいそうするといいですよ

②かいわとぶんぼう



職場や学校などで、疲れてみえる人に声をかける場面。この課では病院にかかるほどの重い病気ではなく、日常生活の中で感じる疲れとその手軽な解消方法が内容となっている。モデル会話に出てくる「お風呂」とは、日本式のふろのこと。西洋のものよりも浴槽が深い。日本人が入浴するのは一般に夜が多い。モデル会話では「夜ねる前に、お風呂に入るといいですよ。」と一文で表しているものを、**2**、**3**で「V1-る まえに、V2」、「V-る といいいですよ」の 2 段階に分けて練習。いずれも動詞の辞書形を使う。**4**は学習者の経験をもとにアドバイスを考えてみてほしい。

③かいわとぶんぼう

やすだは企業に委嘱されて社員の健康管理をサポートする「健康アドバイザー」。ホセは頭と首が痛いので、そこに相談に行きアドバイスを受けるという設定。モデル会話の中で首の体操をしているが、学習者がいっしょにやってみる場合、本文の通り、首を急にまわさないように注意。**2**で取り上げる文型「～ないでください」は、何かをしないように指示やアドバイスをするときを使う。「～ないでくださいね」と文末に「ね」をつけることで、相手への配慮や思いやりを表すことができる。「ない形」は初出。**3**は全身運動でなくても、目や口の体操など、教室で座ってできる体操でかまわない。コラム「ツボ」は参考情報。

第 16 課 走ったり、泳いだりしています

②かいわとぶんぼう

この課の会話は健康管理のために日常的に実行していることを話題にした。ここでは運動を取り上げた。**2**の文型は「V1 たり、V 2 たりしています」。2つの動作 V 1, V 2 は例示であるが、動詞が 1 つのこともある（「V たりしています」）。**2**-①の選択肢は隣ページにあるので注意。

③かいわとぶんぼう

健康に関するアンケート結果のグラフを使って、名詞修飾の構造を理解するための練習をする。**2**では「V (ふつうけい : plain form) + 人」と提示しているが、この課で出現するのは動詞の非過去 (non-past) のふつう形 (例 のむ、のまない) だけ。過去 (past) のふつう形 (例 のんだ、のまなかった) を使った名詞修飾は L17 で扱う。グラフをよく見て文末表現には、ふつう形とていねい形の 2 種類があることも理解してほしい (巻末「ぶんぼうのまとめ」p170-171 参照)。説明はあくまでも簡単に。なお、ふつう形を使った文型は L17、L18 でも学習する。

トピック 9 お祝い

第 17 課 誕生日にもらったんです



②かいわとぶんぼう

持ち物や身につけているものについて話す場面。ものについて簡単に説明するために文型「～んです」を使う。「～んです」は、これまで表現として提示してきた（例「たいしかんに行きたいんですが」（第6課）が、学習者は②でその意味と構造を明示的に学ぶ。③では授受動詞「あげる」「もらう」の用法を助詞とともに確認する。「くれる」を取り上げないので、「あげる」「もらう」の意味の説明は簡潔にする。④は学習者どうしで、互いの持ち物をほめたり、来歴を話したりするとよい。

③かいわとぶんぼう

モデル会話では、お祝いの贈り物としてどんなものをあげるかが話題となっている。②で学ぶ文型は名詞修飾。名詞修飾は、第16課に続いて2回目である。ここでは、プレゼントに何がいか意見を言うために、具体的なものではなく「こういう用途のもの」と言う表現として学ぶ。名詞修飾節の中の動作主は助詞「が」が使われることに注意する（例「あかちゃんが着るもの」「私がかいた絵」など）。②-③では特にそれを練習する。

第18課 パーティーがいいと思います

①もじとことば

①は感情表現（形容詞、動詞）の意味と使い方の確認。助詞（文構造）にも目を向ける。母語との意味のずれがあるかもしれないので注意。

②かいわとぶんぼう

友人のために誕生祝いのパーティーを計画する会話。文型「～と思います」を使って、意見を言う。②-①は語を普通形にする部分だけでなく、(名詞修飾節)全体、そして文全体をとらえること。②-②は①のモデル会話の流れからわかるように、野田さんがパーティーの仕切り役。②-③は学習者が自分の意見を表現できるように、語彙、表現の足りない部分は指導する。

③かいわとぶんぼう

友人の誕生日のパーティーに行けなかった人（シン）に、そのときの様子を報告する会話場面。「～と言っていました」を使って、パーティーに来た人の発言を引用しながら、別の人に伝えるという、仲介の立場。②-①は学習者が仲介者として4人の発言を聞いて（読んで）、ほかの人に伝えるという設定。

⑤さくぶん（PDF）は日記。文体を意識するために、ふつう形を使って書いてみる。

<ことばと文化>



プレゼントをもらったときの反応として、まず考えられるのはお礼 「a ありがとうございます」だが、相手の気配りに対して、申し訳ないという気持ちをふくんだお礼として「b すみません」もよく使われる。プレゼントをもらってすぐ開けるのは、子どもっぽいのでよくないという考え方は日本人の中にもあるが、「c あけてもいいですか」は早くプレゼントを見たいという気持ちよりも、くれた人に感想を早く伝えたいという気持ちがあるのかもしれない。このほか、「たいせつにします」「うれしいです」「これ、ほしかったんです」などの反応もある。